

このページでは、避難生活での疑問や、除染・補償・賠償・賠償に対する質問にお答えします

「ご協力ありがとうございました」
3月19日 飯野出張所でお聞きしました



伊東 拓美さん(関沢)

(質問) 家が傷んでしまい解体することになりました。村に戻ろうと思っているので、家を建て替えるつもりですが、その際の補償・賠償、補助などはどのようになっていますか。

(回答) 村内で家を建て替える際にも、東京電力の「住居確保にかかる損害賠償」を受けることができます。

「住居確保にかかる損害賠償」では、すでに支払われている住宅・宅地の賠償金を超えた分が、上限金額の範囲内で支払われます。また、上限金額は、想定新築価格(平成23年3月11日時点で新築した場合の想定工事金額)や、時価相当額(平成23年3月11日時点での土地・建物の財物価値相当額)などから算出されます。

なお、個別に事情が異なりますので、具体的な上限金額等については、東京電力「福島原子力補償相談室・財物(土地・建物・家財)ご相談専門ダイヤル」☎0120-926-596(受付時間:午前9時から午後9時)までお問い合わせください。



木幡 富明さん(草野)

(質問) 家族で福島市に避難をしています。震災から4年が経ち、体も生活も限界だと感じています。

(回答) 避難の長期化がもたらす皆さんの心身への影響を村も憂慮しているところです。

村は避難当初より、できるだけ早期に安全な帰村ができるよう国に働きかけてきましたが、国による除染作業は大幅に遅れ、確たる帰村見込時期をお示しできないまま避難が続いてきました。その間にも村内に残る家屋や設備は傷み、お年寄りの体力の低下などが差し迫った課題となっています。村はそれらの課題に取り組むとともに、新たな村づくりに向けて復興計画の具体化を進めています。

3月18日には、諮問委員会より村へ「いいたてまでいな復興計画第5版(案)」が答申されました。この第5版(案)については、今後、村民の皆さんに配布してご意見をいただいております。

村民の皆さんが、生活再建に向けて具体的な見通しが持てるよう、村内の再整備の状況やその後の見通しは、今後も随時お知らせしてまいります。皆さんのご意見をいただきながら、帰村に向けての取り組みを加速させてまいりますので、窮屈な避難生活が今しばらく続きますが、どうぞお体を大切にされ、暮らしや健康のお悩みがある時には遠慮なく村の関係各所にご相談ください。



いいたてのおはなし聞かせっかい

半殺し

泥棒が戸口さ来たら家の中で爺様と婆様が、ぼだ餅を作るが、餅にするが迷っていた。そうだと。

「今夜は半殺し(ぼた餅)が、皆殺し(餅)にすっか。面倒臭えがら半殺しにすっべ」

って言っただがら、泥棒はたまげでいだら、今度、

爺様が、

「今夜は、漏屋(雨漏り)が来そうだな。漏屋は何より恐っかねな」

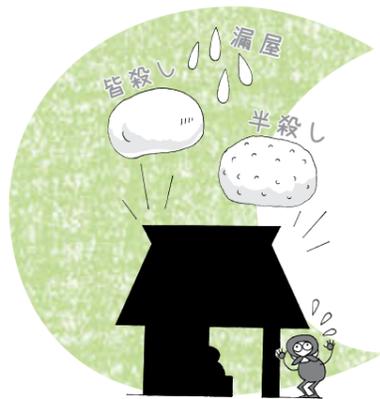
と言っつから、

泥棒はますます恐

っかなくなつて、

何にも取んねで逃

げだど。



話者/故・高橋キミイさん(深谷)
いいたて民話の会発行「飯館むかしばなし」より転載



誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
原田 はるちゃん	徹・麻美	深谷
長谷川 舞羽ちゃん	義宗・千代美	前田
巻野 ほのかちゃん	晋也・円香	伊丹沢
高野 りんちゃん	邦宏・恵美	大倉
齋藤 寧々ちゃん	貴文・晴菜	深谷
今井 ゆりちゃん	一起・彩	深谷

すくすくと元気に育ってね



結婚おめでとう

氏名	出身地
齋藤 友樹	深谷
菅野 夏美	福島市

いつまでもお幸せに



おくやみ

氏名	年齢	行政区
菅野 マサ子	65	宮内
庄司 清由	88	長泥
松下 定雄	93	宮内
中島 サツヨ	87	比叡
佐藤 武身	84	前田
松田 マチノ	102	深谷
佐々木 ハルノ	93	比叡

ご冥福をお祈り申し上げます

(2月21日から3月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届出のときに住民係へ申し出てください。

編集後記

3月11日、村内を抜け、南相馬市から国道6号線を通って相馬市へと向かいました。▼6号沿線のコンビニエンスストア店頭には仏花や線香が並び、復旧工事が続く相馬市の海岸には不明者を捜索する警察官の姿。この地で多くの命が失われたことを肌で感じました。▼避難村民に対する両市の支援や地域の方との交流を、広報取材してきました。それだけに、地域の本来の状況や心の痛みが胸に迫ります。▼尾浜原釜地区の海岸へ。相馬仮設の村民と共に慰霊の集いに参加しました。寄せ来る波に「お母さん」と呼びかける地元の人々の声がします。あれから4年。あの日と同じ小雪の舞う午後、海に向かって、人々が共に祈りました。(星)